REP-ALG-RAF0161-00BAT　REP-ALG-RAF0161-00BAT - 車両バッテリー脱着に関する注意事項 - V.32,

---

61 00 ...　　車両バッテリー脱着に関する注意事項

バッテリーの取扱いに関する安全に関する注意事項を守る。

車両バッテリーを外す前に、以下の事項を確認する：

イグニッション及びその他の電気負荷をオフにして再接続時のスパークの発生を防止する。

ヒント：

車両バッテリーの取外しの際にイグニッションがオフになっていないと、いくつかのコントロール ユニットではディフェクト メモリーが登録されることがある。

注意！

- 取り違えの恐れ：バッテリーのプラス配線とマイナス配線が同じ色で確信が持てない場合は、車両バッテリーまで辿って極性を確認し、配線にマークを付け、カバーする。
- オンボード コンピューターおよび時計のデータが消去される場合がある。

車両バッテリーを外す際の一般的な注意事項：

- バッテリーケーブルおよびオルタネーターとスターターの配線は、エンジン回転中は外さないこと。
- バッテリー マイナス配線のターミナルをバッテリーから分離する。バッテリー マイナス極をカバーして固定する。
- 補助バッテリー付き仕様については両方のバッテリーマイナスラインを端子から切断します。バッテリー マイナス極をカバーして固定する。
- 車両バッテリーを外した状態で電気装置に関する作業を行うと、コントロール ユニットによってはディフェクト メモリーに故障が登録されることがある。
- バッテリーター ミナル取付け時：締付けトルクは 61 21 1AZ を参照。

AGM 鉛バッテリーのみ：

- バッテリーのマイナス極に IBS を装備している車両の場合：

  極片を決して力をいれて引き抜いたり、持上げたりしないこと！

  IBS のアレン ボルトを決して外さないこと！

車両バッテリーの接続後に以下の事項を確認する：

注意！

電気回路断線があった後は、いくつかのシステムで使用が制限される場合がある。

同様に、パーソナルプロファイルが失われる場合がある。

装備バリエーションに応じて、設定および作動を実施すること。

例：

- 必要に応じて サンルーフ を作動させる
- 必要に応じてパワー ウィンドウを作動させる

車種別情報に関する更なる注意事項は診断システムを参照すること。